

年間指導計画 及び評価規準

【知技】…知識技能 【思判】…思考判断 【主体】…主体的に学ぶ

学期	月	単元名	評価項目	評価規準
1 学 期	4	学校のまわり	【知技】	観点に基づいて見学や調査を行ったり、地図や写真資料などの資料を活用したりして必要な情報を集め、学校の周りの様子を理解している。
			【知技】	調べたことを主な地図記号や四方位などを用いて絵地図や白地図にまとめ、学校の周りの特色を理解している。
			【思判】	場所による違いに着目して問いを見出し、学校の周りの様子について考え、表現している。
			【思判】	見学した場所による違いを適切に表現している。
			【主体】	学校の周りの様子について予想したり、学習計画を立てたりして、学習問題を追求し、解決しようとしている。
	6	わたしたちのくらしと商店	【知技】	販売の仕方、他地域とのかかわりなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして販売に携わっている人々の工夫を理解している。
			【知技】	調べたことを白地図や新聞などにまとめ、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。
			【思判】	買い物調べや商店の様子などに着目して問いを見だし、販売に携わる人々の仕事の様子について考え表現している。
			【思判】	消費者の願いと関連付けて販売に携わる人々の工夫を考え表現している。
			【主体】	地域に見られる販売の仕事について、予想をもとに見学計画を立てたりして、主体的に学習問題を追究し解決しようとしている。
2 学 期	9・10	わたしたちのくらしと農家の仕事/工場の仕事	【知技】	仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり、地図などで調べたりして、農家及び工場の仕事の様子を理解している。
			【思判】	仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して問いを見だし、生産に携わっている人々の様子について考え、表現している。
			【知技】	調べたことを白地図や新聞などにまとめ、農家の仕事は地域の人々の生活と密接なかかわりをもって行われていることを理解している。
			【思判】	農家及び工場の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。
			【主体】	地域にある農家及び工場の仕事について、予想や学習計画を立てたりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
	#	火事のない町をめざして	【思判】	施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。
			【思判】	火災から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活を関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えた時、火災から地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを選択・判断したりして適切に表現している。
			【知技】	調べたことを白地図や文などにまとめ、火災から地域の安全を守る働きは、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。
			【主体】	火災から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活を関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えた時、火災から地域や自分自身の安全を守るための働きについて、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして学習問題を追究し解決しようとしている。
			【主体】	学習したことを基に、火災から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。
#	事件や事故のない町をめざして	【思判】	事件や事故から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活を関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えた時、火災から地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを選択・判断したりして適切に表現している。	
		【思判】	施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見だし、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。	
		【知技】	施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。	
		【主体】	事件や事故から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活を関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えた時、事件や事故から地域や自分自身の安全を守るための働きについて、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして学習問題を追究し、解決しようとしている。	
		【主体】	学習したことを基に、火災から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。	
3 学 期	1・2・3	江戸川区のうつりかわり	【主体】	学習したことを基に、火災から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。
			【知技】	江戸川区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い移り変わってきたことを理解している。
			【知技】	聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして年表などにまとめている。
			【思判】	交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いを基に江戸川区や人々の生活の様子の変化について、文章で記述したり説明したり話し合ったりしている。
			【思判】	江戸川区の課題を把握し、江戸川区の将来の姿について考え、説明したり、話し合ったりしている。
			【主体】	江戸川区の様子の移り変わりについて関心を持ち、学習問題の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。
			【主体】	これからの江戸川区の発展に関心を持ち、江戸川区の将来の姿にすすんで話し合い、考えようとしている。